

平成21年5月18日

生徒 及び 保護者 様

## 新型インフルエンザへの対応について

三重大学教育育学部附属中学校  
校長 兼 重直文

メキシコ、アメリカでの発生に端を発した新型インフルエンザ問題は、世界のおよそ40カ国に飛び火し、8,000人を超える感染者へと広がっています。世界保健機関（WHO）は「人から人への感染が2カ国以上で起き、大流行の危険が切迫」のフェーズ5の警戒水準としています。

これまで、国の指導や大学の指導に基づいて、感染予防への対応をお願いして参りましたが、テレビや新聞等で報道されていますように、厚生労働省が16日（土）に神戸市の高校で海外渡航歴のない生徒が新型インフルエンザに感染したと発表し、大阪府内にも感染の拡大が確認されるという、国内発生が生じ、国の行動計画が「海外発生期」から「国内発生期」に移行されました。

特に、海外渡航歴のない生徒に感染が広がっていることは、国内でも人から人への感染が広がっていることの恐れが強く、神戸市や大阪府では幾つかの大学、高校、公立小中学校等で7日間の休校措置をとっています。

こうした状況を考え、国や大学の指導に加えて、三重県や津市の指導や調査にも歩調を合わせて、万全の対応をして参りたいと考えています。16日（土）夕刻、津市教育委員会及び津市校長会から「18日（月）に次の調査と対応の依頼」があり、早速「朝の学活」で対応致しました。

- ① 5月16日（土）・17日（日）に神戸市及び大阪府に出掛けた職員、生徒の実態把握
- ② 上記、①の該当者のマスク着用指示
- ③ 職員、生徒の健康状態の把握（体調不良や、発熱など）

特に本校では、厚生労働省が国内感染を発表した前日まで、2年生が5月14日（木）15日（金）の1泊2日で「震災学習・商人体験学習」としての「社会見学」に、兵庫県北淡町、神戸市、大阪市方面に出掛けていますことを配慮して、次の対応も致しました。

- ④ 特に、2年生の健康状態の把握を丁寧に実施
- ⑤ 念のため、2年生生徒及び引率者全員にマスク着用指示（2年生には、17日（日）に緊急連絡で指示）

今後、どのような状況が生じるか注視していきたいと考えています。保護者の皆様もお子さんの健康状況を把握いただきますとともに、諸報道にも関心を持ちながら冷静で適切な対応をお願い致したいと思っております。万一、新型インフルエンザではないかのご心配な様子がありましたら、学校（担任）への連絡とともに、県下に10カ所設けられています「新型インフルエンザに関する相談窓口（保健所）」か「県健康危機管理室」にご相談下さい。 <参考> 「県健康危機管理室」Tel：059-224-2339

「津市保健所」 Tel：059-223-5185（他保健所は裏面に）

なお、現時点では、5月20日（水）～22日（金）の3年生の沖縄への修学旅行は予定通り実施致します。（万一のため、マスクを持参）



マスクをして模擬店の作業をするイベント参加者=津市の高茶屋市民センターで

# 新型インフル

# 発熱外来の設置拡大

## 松阪や伊賀など 対応追われる自治体

国内で新型インフルエンザが、公共施設での感染エングザが発生したことから、県内の各市も十六日から十七日にかけて対策会議などを開

○：津市は対策会議

で、公共施設の出入り口に消毒用アルコールを設置し、職員にマスク計一万五千枚を配布することを決めた。夏休み前に関西方面への修学旅行を予定していた小中学校は三十三校。既に七校が延期や行き先変更を決め

た。感染が発覚した地域への修学旅行の自粛を呼びかける。津市高茶屋の市民センターで十七日あった催しに出席した松田直久市長は「予防の第一は家庭から。手洗い、うがいの励行を」と呼び掛けた。催しでは予

### 新型インフルエンザ相談窓口

|          |              |
|----------|--------------|
| 県健康危機管理室 | 059(224)2339 |
| 桑名       | 0594(24)3625 |
| 鈴鹿       | 059(382)8671 |
| 津        | 059(223)5185 |
| 松阪       | 0598(50)0531 |
| 伊勢       | 0596(27)5148 |
| 伊賀       | 0595(24)8045 |
| 尾鷲       | 0597(23)3454 |
| 熊野       | 0597(89)6115 |
| 四日市市     | 059(352)0594 |

相談窓口受付時間は、県健康危機管理室が午前9時から午後9時、各保健所が午前8時半から午後5時15分まで(四日市市は24時間)

防のため、主催者側の模擬店の店員にマスク着用を要請。店員はマスク姿でうどんなどを販売した。

○：松阪市も「新型インフルエンザ危機対策本部」の臨時会議を開いた。十八日から市民病院に発熱外来を設置することや、担当部局がマスク、治療薬の備蓄を進めていることが報告された。

教育委員会は、十八日からの米ノ庄小学校六年生の京都、奈良への修学旅行は予定通り実施すると説明。山中光茂市長は「人込みでは必ずマスクをするなど指導を徹底してほしい」と指示した。

○：県の要請を受け、伊賀市は上野総合市民病院、名張市は市立病院に十八日から発熱外来を開設する。診察時間は平日午前九時から午後五時まで(名張は午後四時まで)。

発熱外来は伊賀保健所内の発熱相談センターに相談があった患者のうち、新型インフルエンザの感染が疑われる人を診察する。

